

	学年区分	学年区分の考え方	教育課程の基準の特例活用	モデルカリキュラムの作成
【公立】				
千葉県船橋市 (若松小・中学校)	4・3・2	・4【第 期】...児童の状況、実態を踏まえながら基礎的・基本的な知識・技能の定着や学習習慣を確立する。 ・3【第 期】...基礎的・基本的な知識・技能を活用し、解決する学習内容を明らかにし、思考力、判断力、表現力等を育成する。 ・2【第 期】...自ら課題を設定し、思考力、判断力、表現力を生かして解決していく主体的な学習態度を育成する。	研究開発学校(H21.4~) 小中一貫教育カリキュラムの開発 国際理解教育(英語教育)の推進カリキュラムの開発 新設領域「在り方生き方」のカリキュラム開発	学校において、9年間を見通したカリキュラムを作成
東京都品川区	4・3・2	・4...基礎・基本の定着(読み・書き・計算の習得) ・3...基礎・基本の徹底 ・2...自学自習の重視	区内全小・中学校が教育課程特例校(H16.4~) 1~6年生において「英語科」 1~9年生において「市民科」 5~9年生において「ステップアップ学習」(選択教科) 1~9年生において各教科の発展学習の導入・単元配列の変更	【区全体】「品川区小中一貫教育要領」 (つまずきやすい内容や繰り返して学習する必要のある内容を整理し、義務教育9年間で、確かな学力をはぐくめるよう工夫。小学校1年生からの「英語科」や「市民科」など新たな学習も取り入れ、小学校の学びから中学校の学びへの移行を円滑にし、子どもの学習意欲を高め、学力の定着を図る。)
東京都三鷹市	各中学校区ごとに設定	(中学校区ごとに地域の実態に合わせて設定)	なし	【市全体】「小・中一貫カリキュラム」
神奈川県横浜市	市として一律の学年区分は示していない (併設型小中一貫教育校においては4・3・2のまとまりに配慮した教育課程を編成)	【霧が丘小中学校における考え方】 現代の子どもの発達段階に応じて、9年間を4-3-2でつなぐ。特に小学校と中学校をつなぐ「連携部(5~7年生)」においては、学習の内容や方法を工夫。 <連携部の取組例> ・小中教職員、児童生徒の授業交流 ・5、6年生の一部教科担任制 ・中学校の理科施設や備品を活用した5、6年生の理科実験 ・6年生算数での中学校数学先取り学習(一部)	併設型小中一貫教育校のみ教育課程特例校 授業時数の増減 霧が丘 小3・4年:外国語活動+10 総合-10 小6年 :算数+15 中2・3年:音楽+10 美術+10 総合-20 西金沢 小3・4年:外国語活動+15 総合-15 学習内容の先取り 霧が丘 小5・6年:外国語活動アルファベット、身近な単語の読み書き 小6年:算数「正の数・負の数」 西金沢 小6年:外国語活動アルファベット、身近な単語の読み書き	【市全体】「横浜版学習指導要領」 (教科等編において、義務教育9年間で身につける力の明治、発達段階に応じた身に付ける資質・能力の系統表、学習指導要領で示された内容を「基礎的指導内容・指導方法」とし、不十分な場合の「補充的指導内容・指導方法」、学習を深めたり広げたりするための「発展的指導内容・指導方法」を明示) 併設型における教育実践を市内全校に適用される小中一貫カリキュラムの策定や小中学校が連携した教育の推進に活用
新潟県三条市	4・3・2	・4【基礎充実期】...学習規律や基礎的・基本的な知識や技能を繰り返し指導し、習熟を図ることを重視する期間 ・3【活用期】...身に付けたことを活用して、論理的思考力の育成を図ることを重視する期間 ・2【発展期】...身に付けたことを発展させ、自ら課題を見付け、それを解決する力の育成を重視する期間	なし	【市全体】「教科モデルカリキュラム」「特別支援教育モデルカリキュラム」 (9年間の学びの系列表[全市共通]、各教科指導の構想[全市共通、各中学校区ごとの内容含む]、前期・中期・後期の指導の概要[各中学校区ごと]から成り、各教科の分野・領域ごとに、9年間の学習内容の結びつき、単元のつながりの全体像を明示)
広島県広島市	4・5	4(前期)...学びの基盤づくりと基礎の徹底(基礎的な知識や技能の習得、学習規律や学習習慣の定着) 5(後期)...思考力・判断力・表現力の向上と発展	市内全小・中学校が教育課程特例校(H19.4~) 小5、6年において「言語・数理運用科」、「英語科」 中1~3年において「言語・数理運用科」	【市全体】「ひろしま型カリキュラム」
広島県呉市	4・3・2	・4【前期】...繰り返しによる基礎・基本の習得 (学級担任によるきめ細やかな指導を行い、「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣と読み・書き・計算などの基礎的な力を身につける) ・3【中期】...小学校から中学校へのスムーズな移行 (小学校5・6年生に一部教科担任制、相互乗り入れ授業を実施して、より多くの教員が関わる中で、教員の専門性を生かしながら知識・技能を活用する力を身につける) ・2【後期】...社会で自立して生きていく基礎づくり (前期・中期で身につけたことを発展させ、自立して社会で生きていく基礎である義務教育9年間で修了するにふさわしい学力と社会性を身につける)	なし	各中学校区において、9年間を見通したカリキュラムを作成
香川県高松市 (高松第一学園)	4・3・2(教育活動の区切り) (参考)学校生活の節目の観点からは6・3を採用	・4(期)・3(期)・2(期)の区切りは現在の子どもの発達段階に合っており、確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育成するのに効果的。 ・特に 期においては、小学校から中学校への円滑な接続を図り、中学校入学に伴う学習環境や生活環境の変化によって生ずる様々な課題の解消に効果的。 ・また、小学校高学年から中学校1年の段階での学習に対する意識の継続化を図ることができる。	なし	学校において、9年間を見通したカリキュラムを作成
熊本県産山村	5・2・2	5(前期)・2(中期)・2(後期)のうち、中期における接続をスムーズに行い中1プロブレムを解消するとともに、自分の村や学校にとって最もふさわしい教育効果を上げる「ローカルオプティマム」を実施する。	村内全小・中学校(計2校)が教育課程特例校(H19.4~) 小1~中3において「ヒゴタイングリッシュ」 小1~中3において「うぶやま学」 小3~中3において「チャレンジ学習」	学校において、9年間を見通したカリキュラムを作成
【私立】				
学校法人聖ウルスラ学院英智小・中学校	4・3・2	・4【Fステージ】...児童期 (知識欲も旺盛で学習による発達が着実に進むこの時期に基礎学力の定着と学び方の基礎を身につけさせるとともに心を耕し「しつけ教育」を行うことで10歳の壁といわれるハードルを越える力を育む。) ・3【Sステージ】...思春期 (人生の様々な問題を考えたり、世界的な視野で社会の問題を考え始めるこの時期は知的好奇心の増大と思春期心理の芽生えに応じた学習の充実を図り、応用・発展的学力と充実した内面の成長を実現させる。) ・2【Tステージ】...前青年期 (人生の様々な問題を考えたり、世界的な視野で社会の問題を考え始めるこの時期は知的好奇心の増大と思春期心理の芽生えに応じた学習の充実を図り、応用・発展的学力と充実した内面の成長を実現させる。)	教育課程特例校(H17.4~) F1~S6年生の英語科の新設 F3年生のコンピュータ科の新設 F1~S5年生の算数及びF2~S5年生の社会・理科の上位学年の学習内容の導入 S5~S6年生の英語及びS6年生の算数の上級学校の学習内容の導入 S7~T9年生の英語、数学、理科の上位学年または上級学校の学習内容の導入 S7年生~T9年生の書道科の新設 F1年生~T8年生の言語技術科の新設	学校において、9年間を見通したカリキュラムを作成